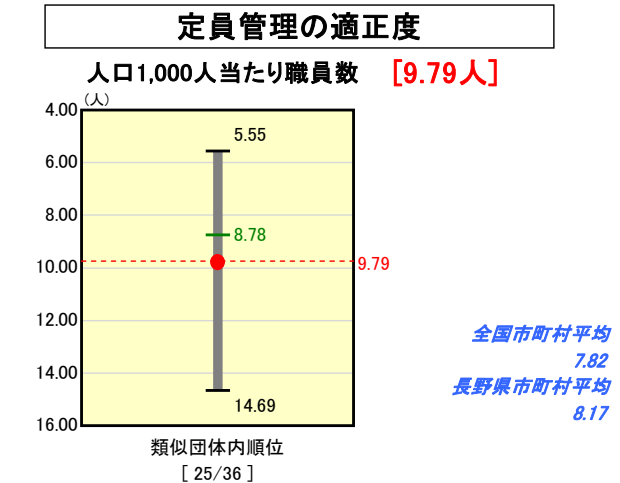
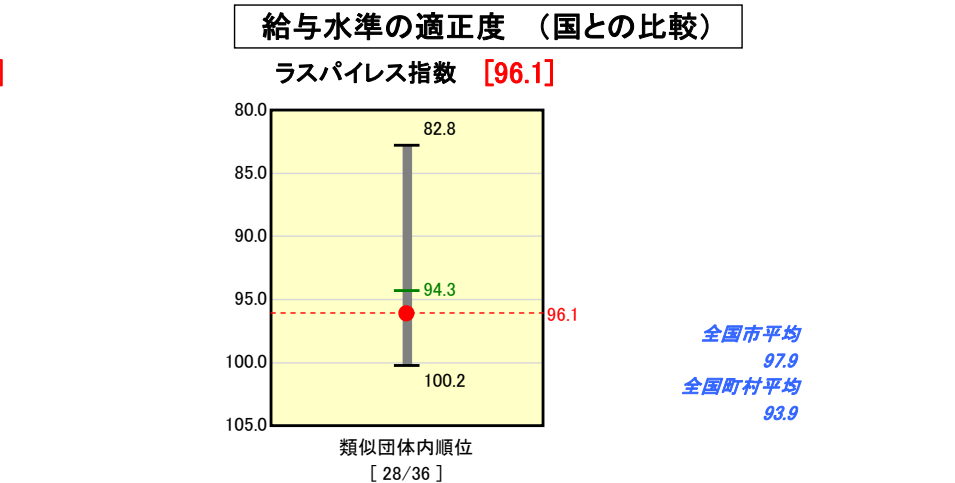
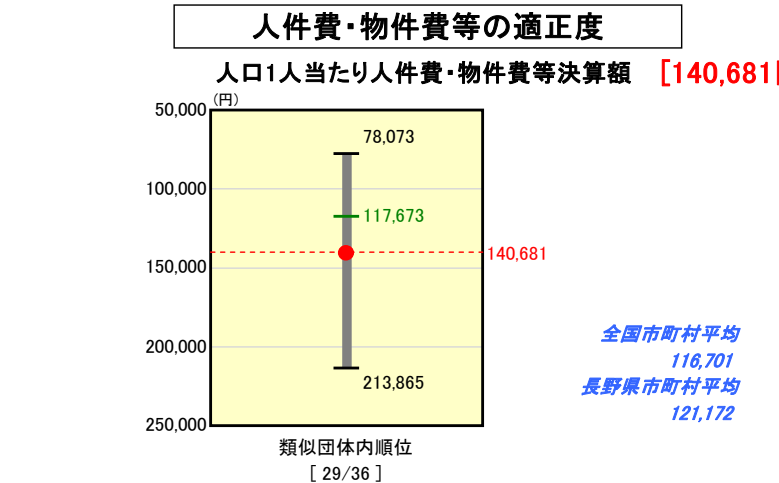
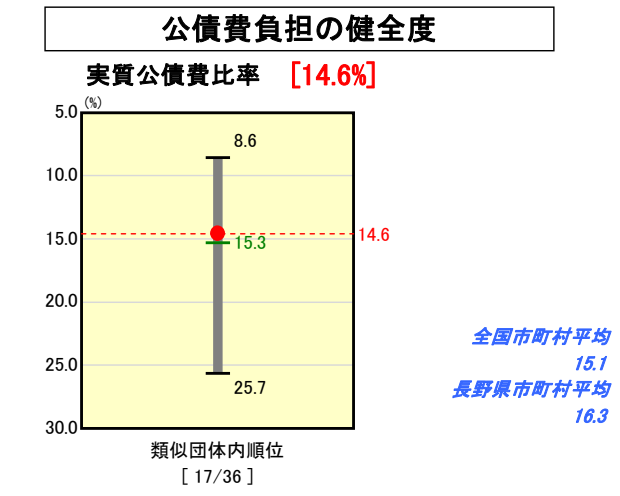
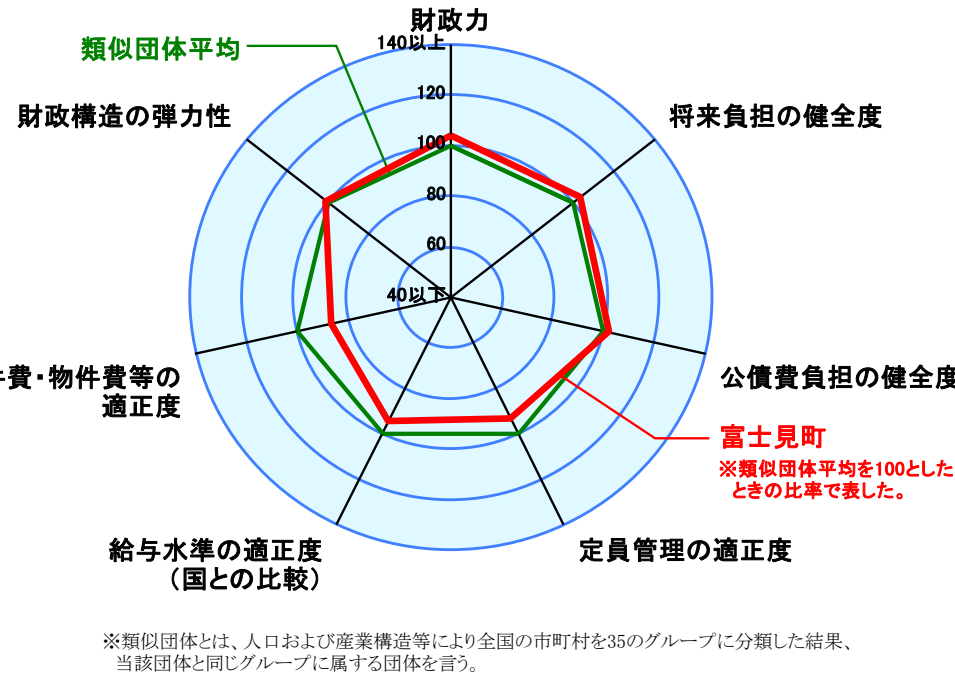
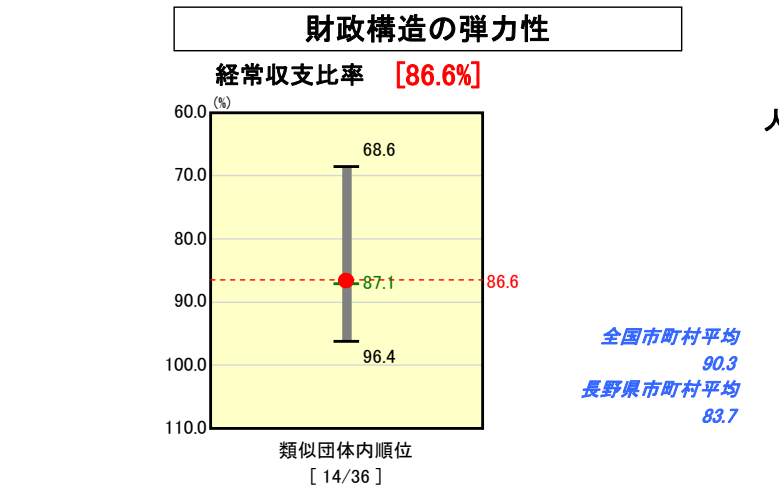
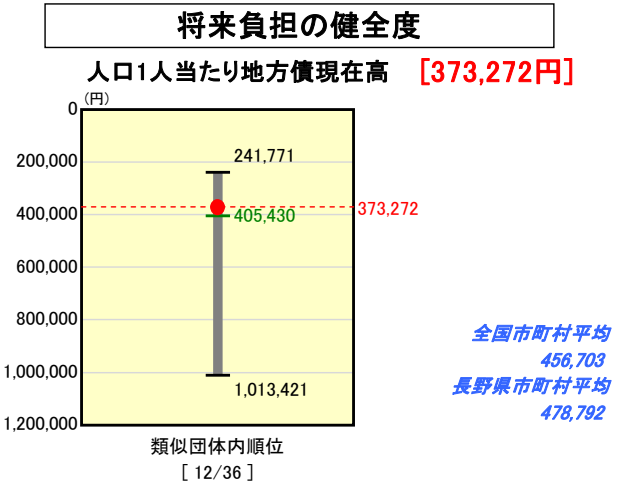
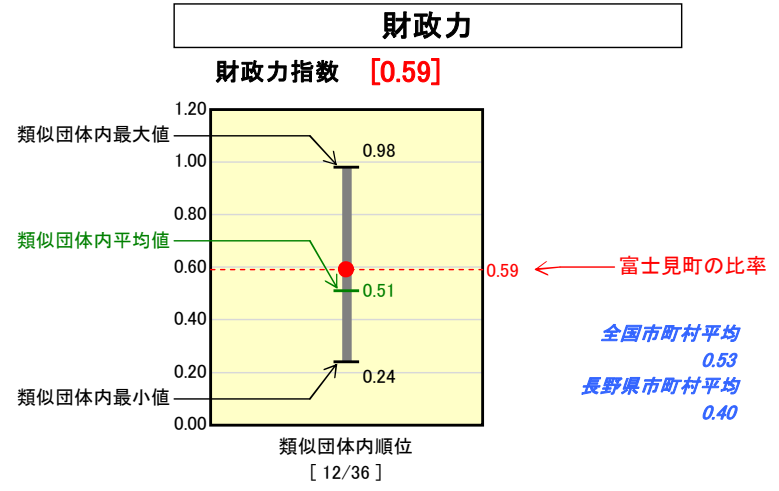


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

長野県 富士見町

人口	15,530 人(H19.3.31現在)
面積	144.66 km ²
歳入総額	6,970,860 千円
歳出総額	6,649,785 千円
実質収支	318,619 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数：類似団体の平均を上回る税収等があるため、0.59となっているが、景気の回復基調がみられず、固定資産税等の減収傾向にある。よって企業誘致などによる税収の確保や徴収率向上により歳入の確保に努める。

経常収支比率：類似団体の平均より0.5ポイント下回っている。事務事業評価を実施するなかで、PDCAサイクルに基づき、すべての事務事業の優先度を厳しく点検し、優先度の低い事務事業については、計画的に廃止・縮小を進め経常経費の更なる削減に努める。

ラスパイレース指数：類似団体の平均を1.8ポイント上回っている。今後、指数の内容を分析する中で適正な人件費の管理に努める。

実質公債比率：普通建設事業費に係る起債の償還等により、類似団体の平均を0.7ポイント下回っている。大型の投資事業が一段落してきたことから、元利償還金の増加は抑えられ平成16年をピークに減少しているが、今後とも新規発行の抑制に努める。

人口1人当たり地方債現在高：類似団体の平均を32,158円下回っているが、後世への負担を少しでも軽減するよう起債の発行については必要最低限とし、また交付税措置のある起債を対象とするなど、財政の健全化に努める。

人口1,000人当たり職員数：類似団体の平均を1.01人上回っており、平成19年においては退職者が7人発生しましたが、2人の退職者の補充を行わず、職員の縮減を図ることなど適切な職員管理に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体の平均を23,008円上回っているが、これらは主に物件費を要因としており、施設の維持管理委託、および給食委託について、保育園は全面、学校については一部委託をしていることが理由にあげられます。今後も経費の節減には一層の努力を行います。